



夢と感動のテーマシティにらさき3

南アルプスの大自然を体感できるイベント「ヒルクライムチャレンジシリーズ 葦崎甘利山大会」

美しい景観を
未来に
つなぐ
まちづくり



豊かな自然との共生を目指して

豊かな自然に恵まれた葦崎市では、所有する森林を市民の健康作りや自然体験、自然教育などに活用してもらおうと、平成23年、穂坂町三ツ沢に「穂坂自然公園」を整備しました。隣接する山林では平成20年から森林整備が行われており、遊歩道や自転車散策道から里山として再生していく過程を観察できるほか、園内では工作教室などのイベントも常時開催しており、自然とたつぷりと触れあえます。

平成26年6月には、南アルプスがユネスコエコパークに登録されました。これは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和、即ち自然と人間社会の共生を目的としてユネスコがはじめた事業で、地域社会の発展を目指す取り組みです。葦崎は、構成10市町村の一つとなっており、これまでも甘利山クリーン大作戦やエコトレッキングの

実施など、南アルプスを核とした周辺地域の保全と活用に取り組んできましたが、引き続き『自然と共生する持続可能な社会の世界的モデル』として世界遺産登録に向けて取り組んでいきます。



甘利山クリーン大作戦



穂坂自然公園

先人の営みが創り出した美しい風景を 次世代へとつなぐ

「韮崎駅周辺地区社会資本総合整備計画」に基づいて進められてきた駅前の再開発は、平成23年にオープンした市民交流センター『ニコリ』をはじめ、駅前広場や観音山公園などの完成をもって終了しました。ニコリは、駅前にあったショッピングセンタールネスの建物を改装し、再利用したもので、コストを抑えるだけでなく地球環境保全の面でも理にかなった、非常に新しい考え方です。全国的にも珍しい駅前商業施設の再利用の成功例として、各方面から関心が寄せられています。

鍋山や下円井の棚田、新府桃源郷、穂坂



再開発された駅周辺

のぶどう棚、そして七里ヶ岩台地の突端に広がる360度のパノラマ…。韮崎には、周囲を囲む山々を背景に、数え切れないほどの美しい景観が広がっています。その多くは、先人たちが工夫しながら生きて来た証であり、住民の日々の営みが形成してきた文化です。市ではこの景観を守り、次世代へとつなげていくために、市内全域を対象とした景観計画を策定しました。計画の目標でもある、「美しい自然と歴史文化を語る風景に心動かされるまち」を目指した取り組みが始まっています。



美しい景観を残す水田地帯



駅前広場

「ワイン特区」で広がる可能性と未来への活力

平成23年、中央道韮崎インターチェンジ西側地域に、「上ノ山・穂坂地区工業団地」が完成しました。都心より90分という交通アクセスの良さや工業団地に適した強固な地盤、さらには周辺環境の良さなどから、優良企業の誘致が順調に進み、新たな雇用も創出されています。

一方、農業については、全国の産地と同様、従事者の高齢化や後継者不足といった課題を抱えており、遊休地や耕作放棄地の増加も深刻になっています。市では、農業者育成支援事業を展開して後継者や新規就農者を応援してきましたが、新たな魅力を創出するため、平成26年、新たに「武田の里にらさきワイン特別区域」の認定を受けました。醸造免許の取得が容易にな



上ノ山・穂坂地区工業団地



新たな活性化が期待される穂坂果実郷

ることから、農家や果樹生産者にも、生産した果樹を使ったクオリティの高いワイン造りが可能となり、ワイン観光園などの事業展開も期待されます。穂坂町ぶどうに次ぐ新たな地域ブランドの確立にも力を入れて行きます。